

令和 3 年度

第4回（7月）教育委員会定例会会議録

日 時：令和3年7月20日(火) 15時00分～16時30分

場 所：村民センター大会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 清水 道直・林 百代・出羽澤和子 薄田 東

事務局：教育次長 清水 勝宏

書 記：池上 博子

以上6名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

7月12日に行われた「上伊那市町村教育委員会総会・研修会」では大事な学びをさせていただいた。特に「つくば開成学園高校」丸山副校長の「生徒は自分の学びを自分で決めていく厳しさが本校にはある」はインパクトがあった。先の新聞に「通信制高校への進学者増加」「個別の学び 自ら選択」の記事があった。学校における個別・集団の関係性をどう見ていくか考えさせられる。7月の定例会です。よろしくお願いいたします。

3 付議案件

- ・特になし

4 報告・確認事項

- (1) 第64回県市町村教育委員会連絡協議会 分散会実践発表（案）について

＜会議資料1＞

- ・具体について検討

○実践発表

視点 子ども一人ひとりの確かな育ちを目指して

柱1 願い「ふるさとをため込む」に向けて ～地域の子どもは地域で育てる～

柱2 子育て世代包括支援センターの営み

- ・作業療法士（OT）による学校支援

・医療的ケアを必要とする児童に寄せて

- (2) 児童・生徒数について <会議資料2>
※会議資料にて報告

- (3) 事故報告 <会議資料3>
※会議資料にて報告 非公開
※南部小学校床上浸水・臨時休業について

(4) 各委員から

○南部小学区の中学生の長期休業中（夏休み等）の部活への参加にあたり、SB が
出されていることを確認した。

- ・上伊那教育委員会総会・研修会は参考になった。つくば開成学園高校は逃げ場ではない。選択肢の一つとして理解したい。
- ・高校の単位について意外と知らないのではないか。中学生が高校の単位について「知る・学ぶことが大事ではないか。」
- ・つくば開成学園高校卒業後どのように社会で活躍しているか知りたい。
- ・トイレ一つとっても生徒の内面を大事にした設備になっている。一人ひとりの生徒に丁寧な配慮がなされていると感じた。
- ・学校の役割として、集団の学び。主体的・対話的・深い学びを求めたい。
- ・辰野東小学校での教科担任制は参考になった。本村でもここ数年願っているが。

教育長

- ・各小学校に促してきているが、難しさがある。昨年度南小で実現？と思われたが職員の意識等の変革ができず、実現できなかった経緯がある。

委員

- ・高学年での実現、学年担任制を含め、今後求めたい。
- ・職員みんなが子どもを知っている。子どもたちも先生を知っている。学校規模が大きくなると難しさがある。
- ・放課後児童クラブの申込みが非常に多い。高学年（4年生以上）は家庭で過ごせないか。

- (5) 7月事業報告・8月事業計画について <会議資料4>
※会議資料にて報告・確認

(6) 8・9月教育委員会定例会日程について

8月23日（月） 15：00 村民センター 小会議室
9月27日（月） 15：00 村民センター 小会議室

(7) 村議会福祉教育常任委員会との懇談会について

8月24日（火） 9：30～11：00（予定）

(8) その他

- ・ 令和3年度市町村教委と県教委との懇談について <会議資料5>

8月6日（金） 13：30 村民センター

教育長・出羽澤委員 オンラインで参加

- ・ 村内三校研修会について <会議資料6>

7月28日（水） 13：10～ オンラインで実施

5 閉 会